

◎町長あいさつ

○議長（藤井 要君） 申し上げます。

町長から発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○町長（長嶋精一君） 令和2年松崎町議会第1回定例会の閉会にあたり、一言御礼を申し上げます。本定例会に私どもが、提案申し上げました案件につきまして、慎重審議をいただき、いずれも原案通り可決承認いただきまして、本当にありがとうございました。これからも本議会でご指摘やご助言をいただきました事項につきまして、それぞれを真摯に受け止め今後の町政運営に反映させるよう努力してまいります。変わらぬご理解ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

○議長（藤井 要君） 申し上げます。

3月31日を以て退職をいたします高木和彦統括課長から発言を求められておりますので、この際発言を許します。

○統括課長（高木和彦君） 議会定例会終了のお疲れのところ、このような時間を割いていただきまして、本当にありがとうございます。私は、松崎高校を卒業後、この松崎町役場に入庁し3月31日をもって定年退職することとなります。42年間という非常に長い期間でしたが、課長職として勤めた健康福祉課、産業建設課、総務課時代の5年間と特にこの統括課長として勤めた2年間は本当にたくさんのことがあり、悔しくて眠れない日もありましたが、松崎町長始め、諸先輩方、同僚や、そして議会議員の皆さんのご指導ご協力、また暖かい言葉に励まされ、どうにか、3月31日を迎える事になります。

さて、松崎町は今後、少子高齢化や様々な背景により、財政的にも非常に厳しくなるとともに、今まで想定していなかった問題が、発生する可能性も大きく、それらの解決に向けて、行政の担う役割は更に大きくなります。今更申し上げることではありませんが、それぞれ、住民から、直接選挙で選出された町長と議会議員が相互に牽制し、その均衡と調和により地方自治の公正、適切かつ円滑な運営の実現を目指しますが、いずれか一方が、その権限の範囲を超えて活動したり、活動すべき時に動かないということがあってはなりません。

昨年の流行語に、ワンチームという言葉がありましたが、1つの施策について、一方では牽制し、また一方では協力しあい、最後は両者が同じ意識になることが重要かと思えます。そのような意味でも、今後の議会活動は、更に重要であり、皆様のご判断によって、松崎町

の未来は大きく変わります。どうかご自愛しながらも松崎町のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。まことに簡単ではありますが、お礼の言葉に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

○議長（藤井 要君） これにて閉会します。ご苦勞様でした。